

明治薬科大学

教育活動等の改善のための卒業生アンケート 報告書

2023年度

2023年9月28日

明治薬科大学

進路就職支援委員会

目次

調査概要	P.	2	
設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について	P.	3	～ 5
設問 2. 大学卒業後の就業状況について	P.	6	～ 10
設問 3. 転職・離職経験について	P.	11	
設問 4. 転職・離職経験が「ある」場合について	P.	12	～ 22
設問 5. 現在の就業先について	P.	23	～ 26
設問 6. 明治薬科大学における学修経験について	P.	27	
設問 7. 明治薬科大学の就職支援について	P.	28	～ 29

調査概要

調査目的

卒業後3年を経た卒業生の就業状況および満足度を調査することにより、その傾向を把握するとともに、今後の進路就職支援への活用を目的とする。

調査時期

- ◆ 2023年8月4日（金）～8月31日（木）

調査方法

- ◆ 郵送調査法

調査対象

- ◆ 卒業後3年を経た 明治薬科大学・大学院 2020年3月卒業生

【配布数・回答数・有効回答率】

		配布数	回答数	有効回答数	有効回答率	
2023年調査	薬学部	薬学科	293	68	68	23.2%
		生命創薬科学科	35	3	3	8.6%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	36	16	16	44.4%
		合計	364	87	87	23.9%
2022年調査	薬学部	薬学科	275	109	109	39.6%
		生命創薬科学科	23	7	7	30.4%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	34	11	11	32.4%
		合計	332	127	127	38.3%
2021年調査	薬学部	薬学科	259	88	85	32.8%
		生命創薬科学科	28	5	4	14.3%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	63	4	3	4.8%
		合計	350	97	92	26.3%
2020年調査	薬学部	薬学科	288	98	98	34.0%
		生命創薬科学科	24	7	7	29.2%
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	26	7	5	19.2%
		合計	338	112	110	32.5%

※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため、本報告書内容に関しても参考値とさせていただきます。

【回答者の卒業学科×性別】

※有効回答に限る

		男性	女性	性別無回答	
2023年調査	薬学部	薬学科	22	45	—
		生命創薬科学科	2	1	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	7	9	—
		男女別合計	31	55	0
		男女比率	35.6%	63.2%	0.0%
2022年調査	薬学部	薬学科	35	74	1
		生命創薬科学科	5	2	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	7	4	—
		男女別合計	47	80	1
		男女比率	37.0%	63.0%	0.9%
2021年調査	薬学部	薬学科	22	62	—
		生命創薬科学科	3	1	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	0	3	—
		男女別合計	25	66	0
		男女比率	22.7%	60.0%	0.0%
2020年調査	薬学部	薬学科	26	72	1
		生命創薬科学科	2	5	—
	大学院	薬学研究科 博士（前期）	3	2	—
		男女別合計	31	79	1
		男女比率	28.2%	71.8%	0.9%

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

**キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことがあるのは
回答者全体の67.8%**

回答者全体のうち、大学・大学院に在学した当時、キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことがあるのは67.8%で、2022年調査と比べスコアが3.8ptの減少。

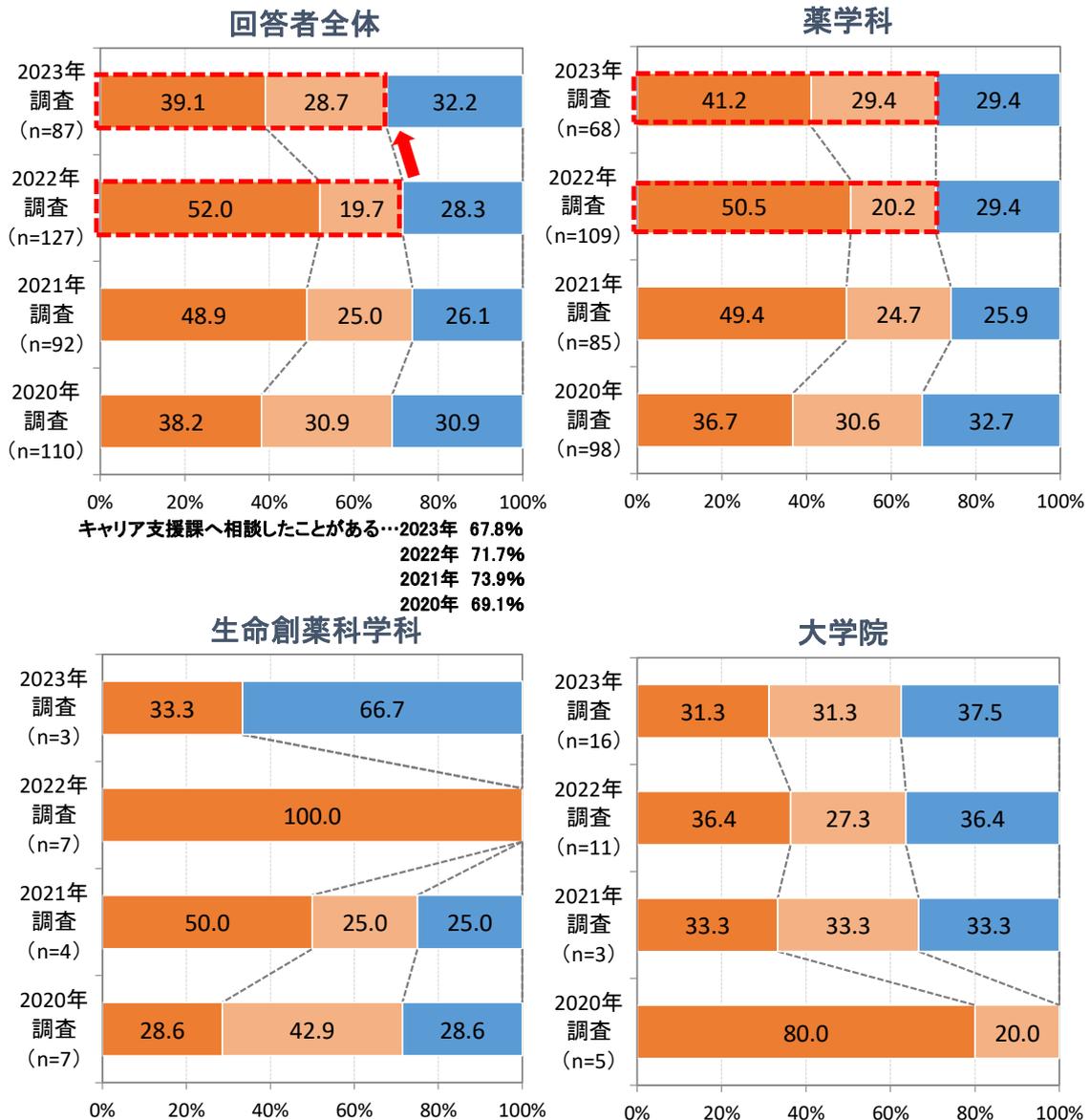
薬学科では、キャリア支援課を活用した卒業生が70.6%で、2022年調査から横ばい。

回答者全体・薬学科ともに「何度も相談した」のスコアが40%前後で、2022年調査より約10pt減少。

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きます。

■ Q1-1. あなたが明治薬科大学に在学中、キャリア支援課へ就職活動の相談をしたことはありますか？

- 1. 何度も相談をした ■ 2. 一度だけ相談をした ■ 3. 相談したことはない



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 1. 在学中～卒業時の就職活動について

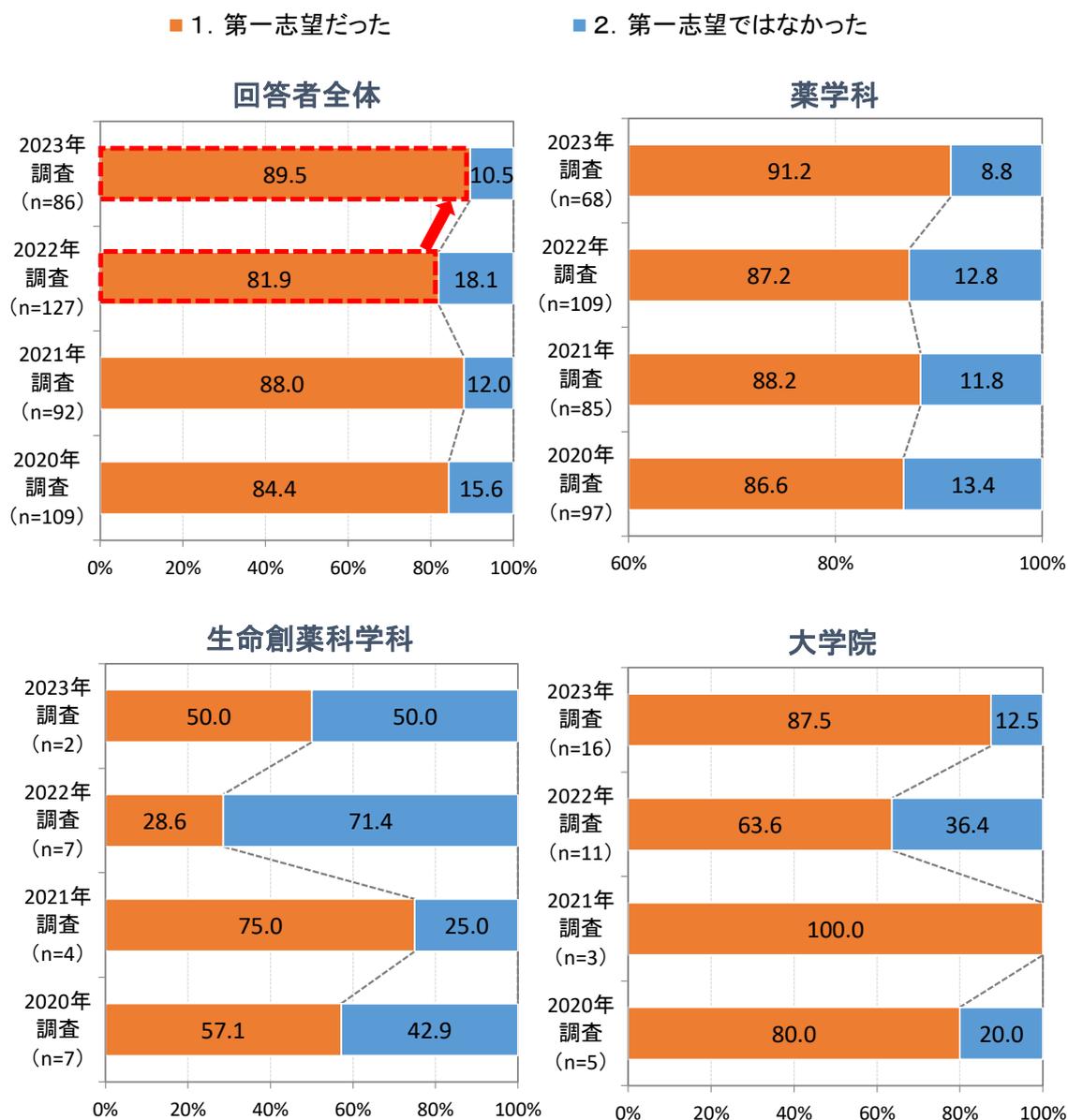
回答者全体のうち、
89.5%が第一志望の業種へ就職

回答者全体のうち、明治薬科大学の卒業時に決まっていた(内定を獲得していた)就職先について、業種が「第一志望だった」のは89.5%。2022年調査に比べ7.6pt増加。

薬学科では、「第一志望だった」が91.2%

設問1 あなたが明治薬科大学に在学中～卒業時のことをお聞きます。

■ Q1-2. 明治薬科大学を卒業する際、決まっていた就職先の業種は当時の第一志望でしたか？



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問2. 大学卒業後の就業状況について

全体のファーストキャリアの業種について、
「保険薬局」「ドラッグストア」「病院」で67.8%を占める。
「病院」は減少が続き、「ドラッグストア」は増加傾向。

大学卒業後の最初の業種について、回答者全体のうち67.8%が「保険薬局」「ドラッグストア」「病院」のうちいずれかに就職。2022年調査と比べ、「病院」のスコアは6.8pt減少。
経年で見ると、「病院」は減少傾向に、「ドラッグストア」は増加傾向にある。

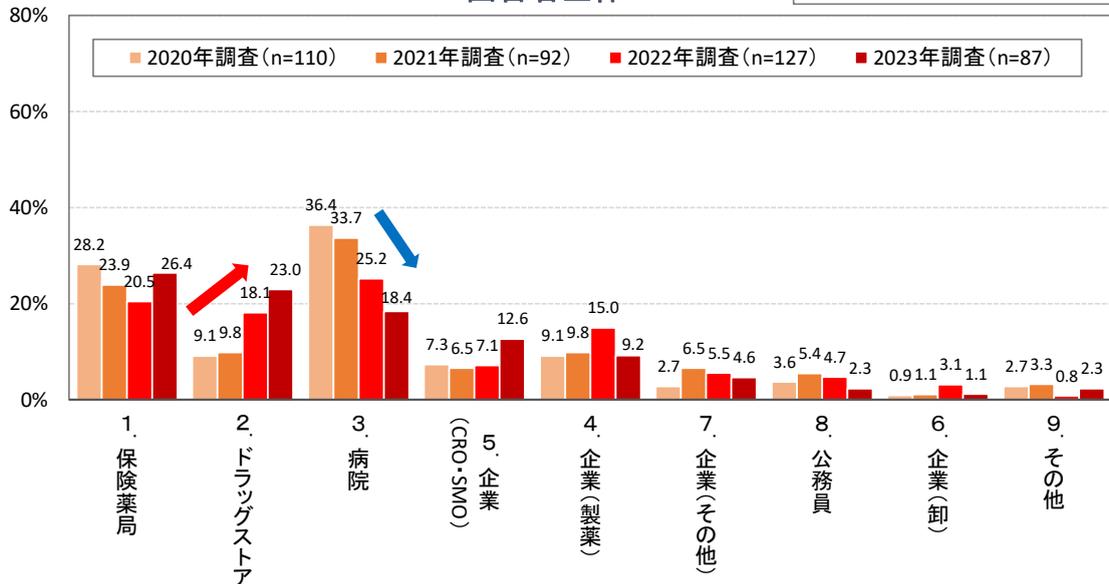
薬学科では、「保険薬局」「ドラッグストア」「病院」の合計で8割を超え、「保険薬局」が大幅増。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種（ファーストキャリア）についてお聞きします。

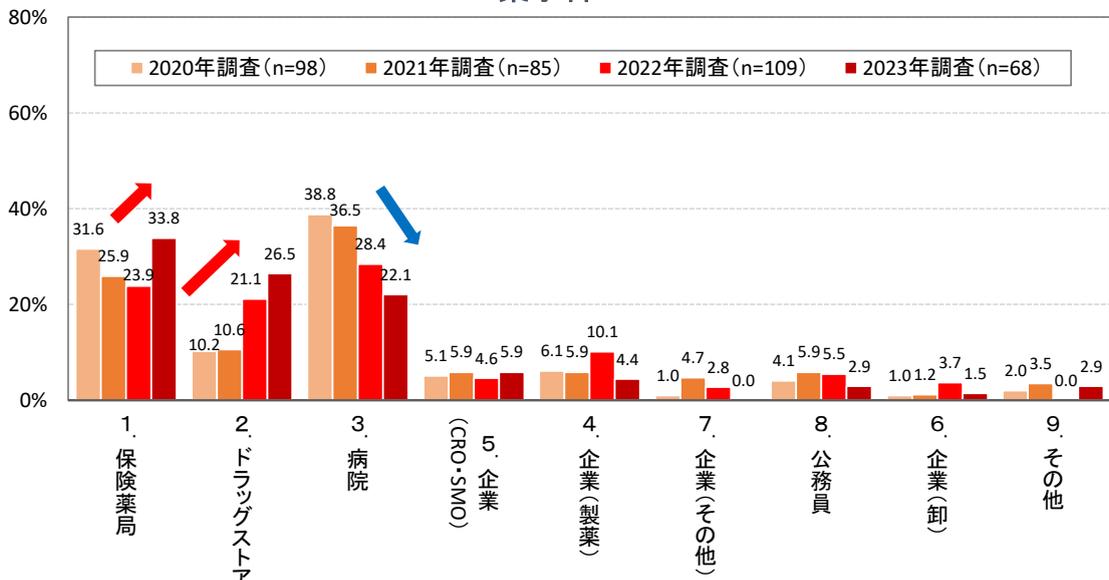
■Q2-1. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート

回答者全体



薬学科

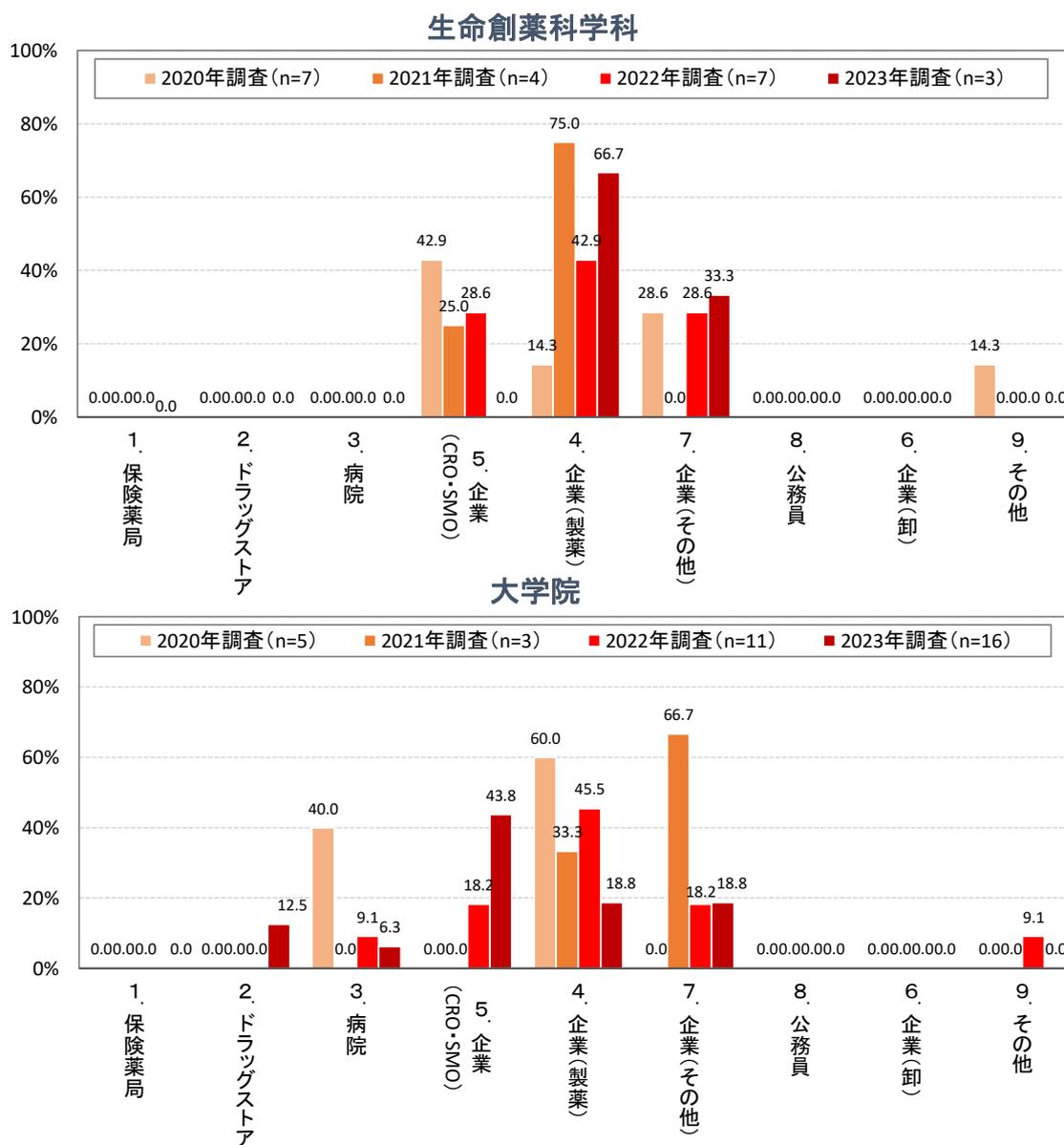


設問2. 大学卒業後の就業状況について

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きします。

■ Q2-1. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 2. 大学卒業後の就業状況について

薬学科の大学卒業後のファーストキャリアでは、
85.3%が「薬剤師」として就職

大学卒業後の最初の職種について、回答者全体のうち70.1%が「薬剤師」として就職。2022年調査から横ばい。

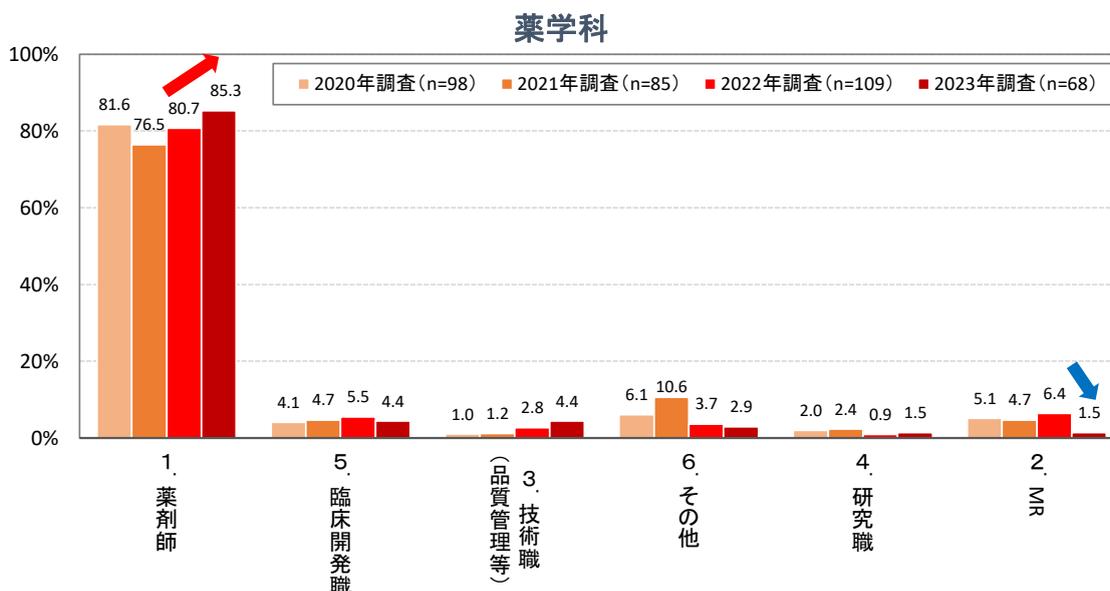
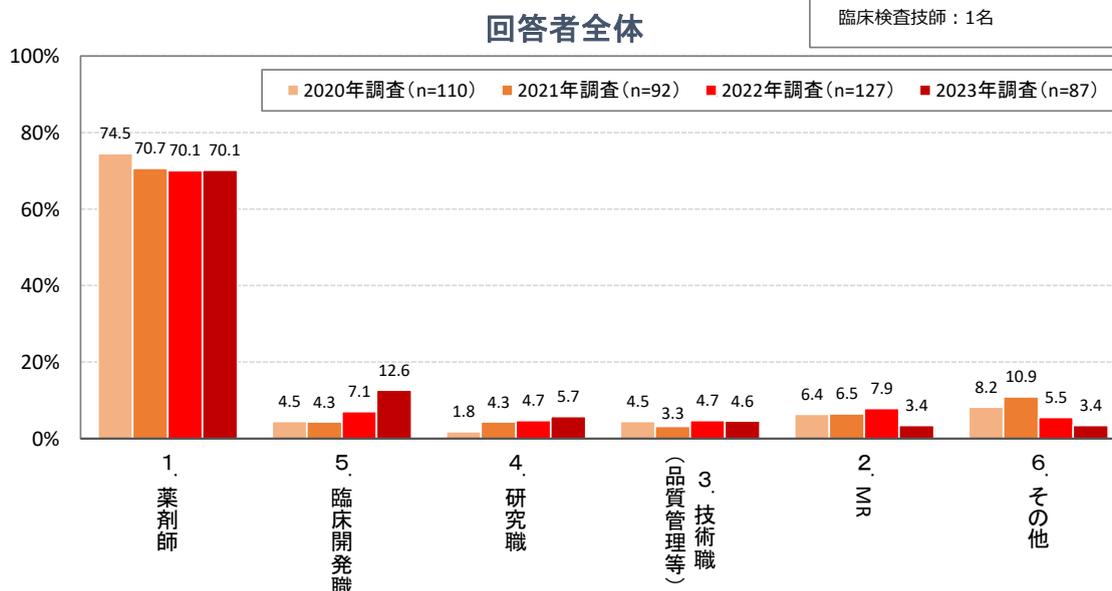
薬学科では、「薬剤師」が85.3%。2022年調査と比べ4.6pt増加。
また、「MR」が2022年調査より大幅に減少。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種（ファーストキャリア）についてお聞きます。

■Q2-2. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した職種についてあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート

その他内訳
●薬学科
事務員：1名
●大学院
臨床検査技師：1名

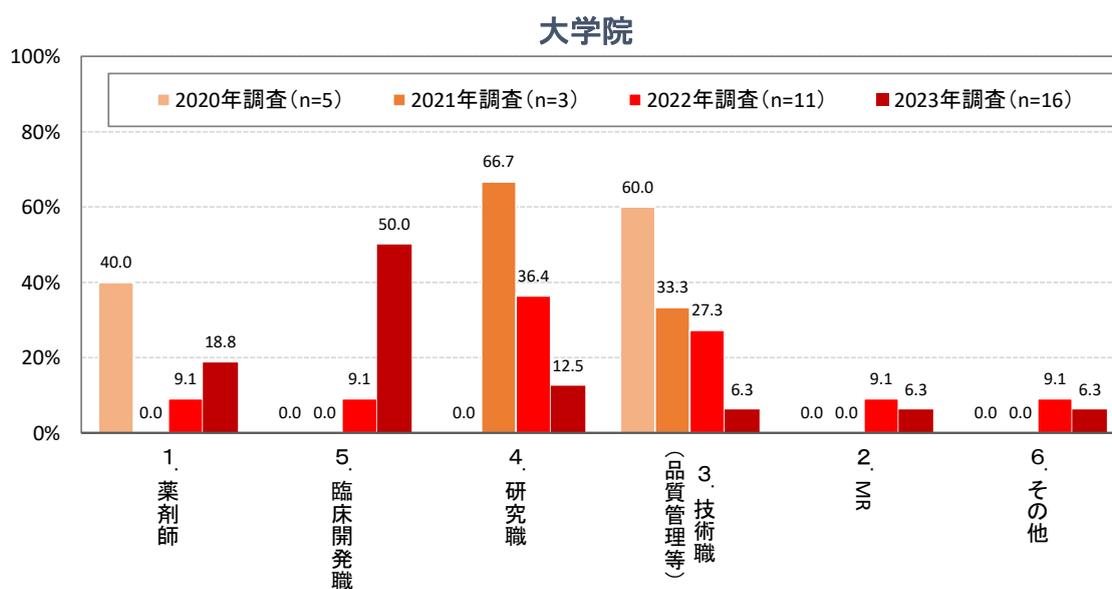
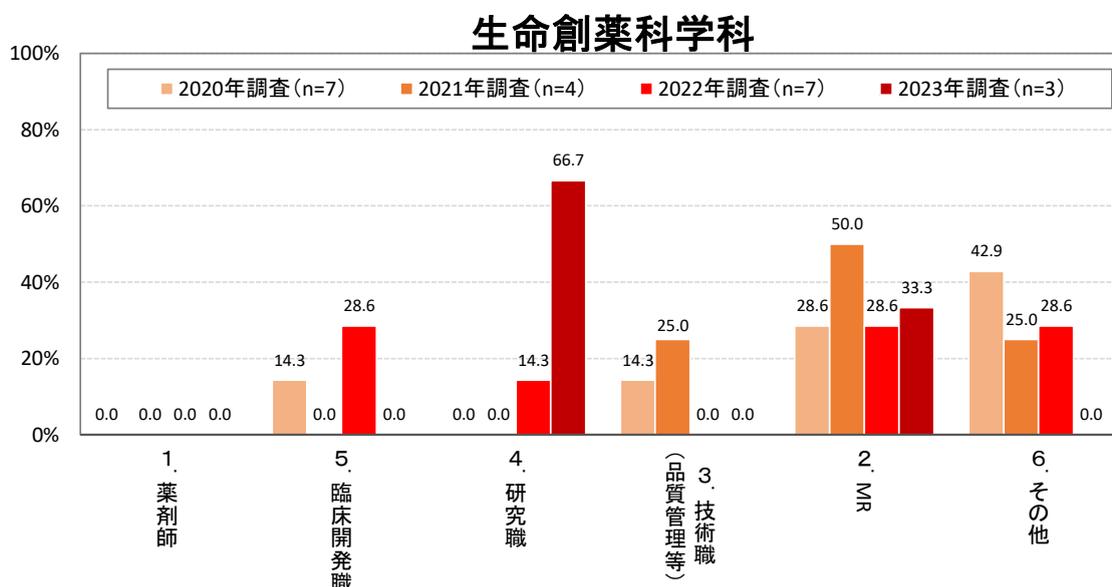


設問2. 大学卒業後の就業状況について

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きします。

■Q2-2. あなたが明治薬科大学を卒業して、最初に就業した職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問2. 大学卒業後の就業状況について

**回答者全体では、
3年以上ファーストキャリアにとどまったのは65.5%**

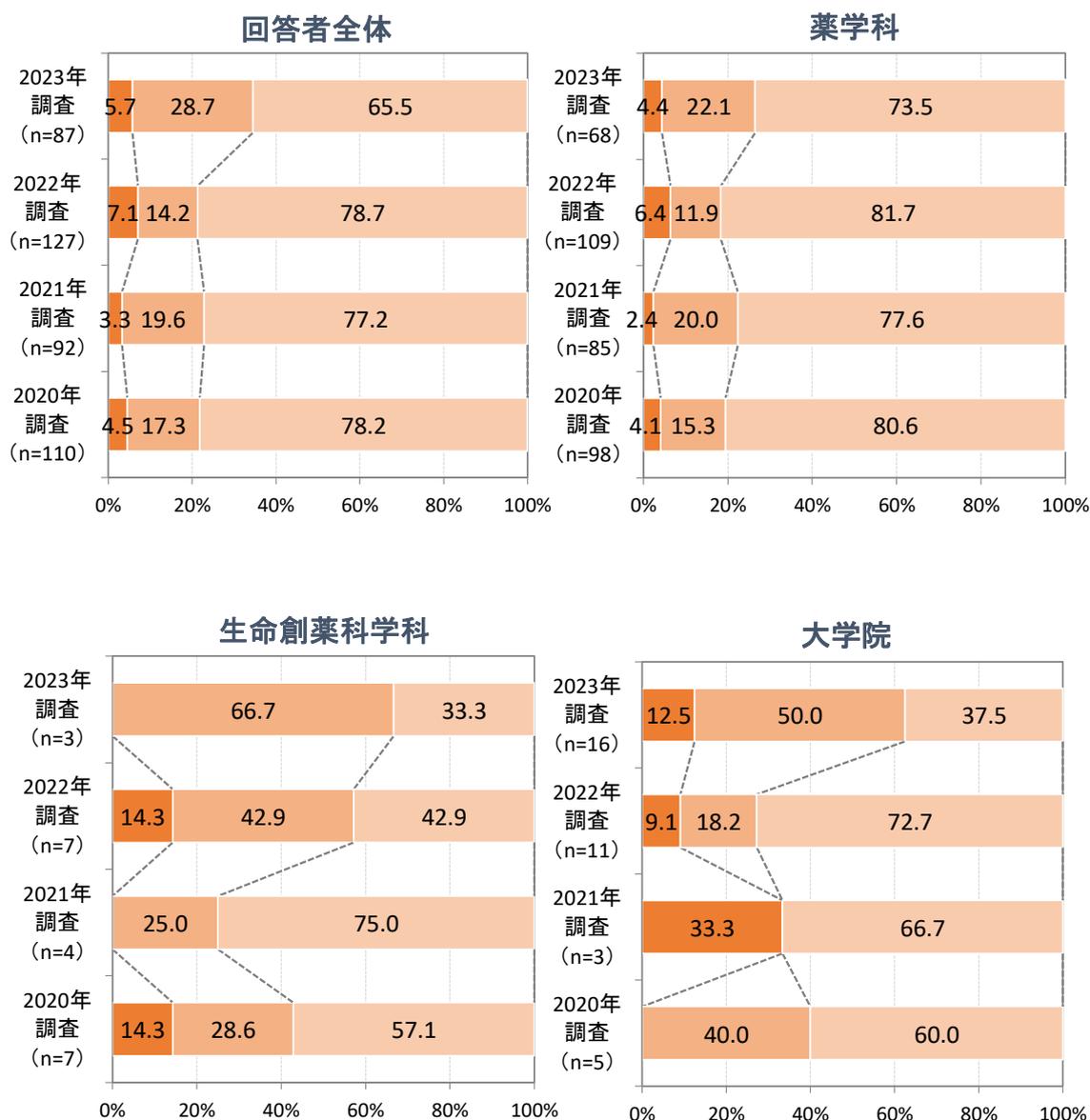
最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)に「3年以上」勤めているのは、回答者全体のうち65.5%と2022年調査より10pt以上減少し、「1～3年未満」が14.6pt増加。

薬学科では「3年以上」は73.5%。
2022年調査に比べ「1年未満」が2pt、「3年以上」は8.1pt減少。

設問2 大学を卒業後、最初に就業した業種・職種(ファーストキャリア)についてお聞きします。

- Q2-3. あなたが明治薬科大学を卒業して最初の就業先 について勤続年数を教えてください。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

■ 1. 1年未満 ■ 2. 1～3年未満 ■ 3. 3年以上



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問3. 転職・離職経験について

転職・離職の経験がある人は 回答者全体のうち21.8%

転職・離職の経験があるのは、回答者全体のうち21.8%と、2022年調査とほぼ同程度。

薬学科では、25.0%が転職・離職の経験あり。

設問3 あなたの転職・離職経験についてお聞きます。

■ Q3-1. 転職・離職の経験について
 あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 転職・離職の経験がない
- 2. 転職・離職を1度経験した
- 3. 転職・離職を複数回経験した



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**転職・離職後の業種は全体で「保険薬局」が26.3%で最多
次いで「ドラッグストア」「企業(その他)」21.1%**

転職・離職後の現在の業種について、回答者全体では「保険薬局」が26.3%で最多。
次いで「ドラッグストア」「企業(その他)」が21.1%と急伸。
2022年調査で次点の「公務員」は、2023年調査では該当者が0人であった。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

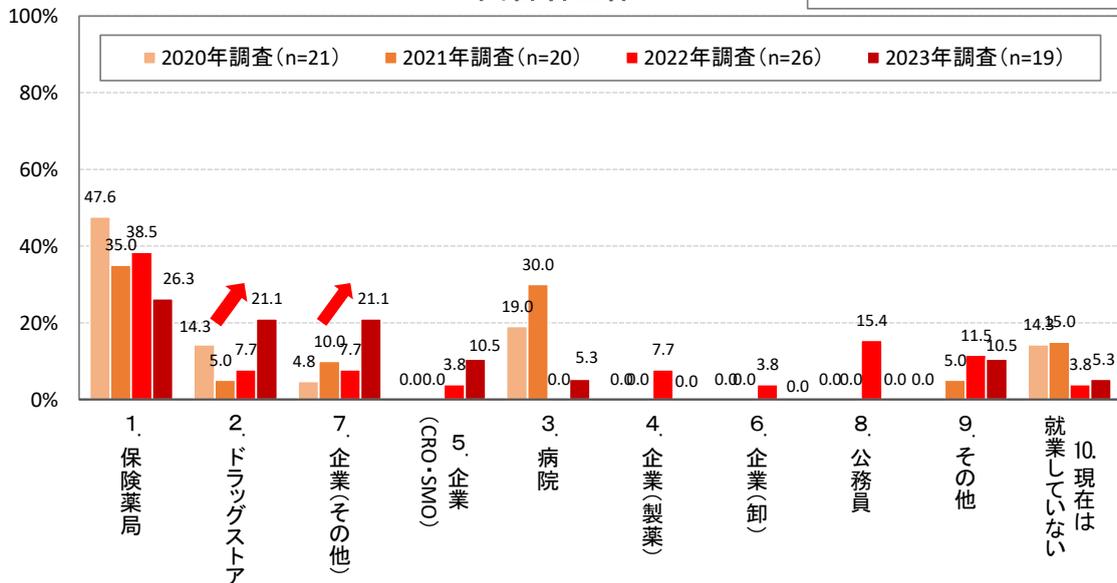
■Q4-1. あなたの現在勤めている業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート

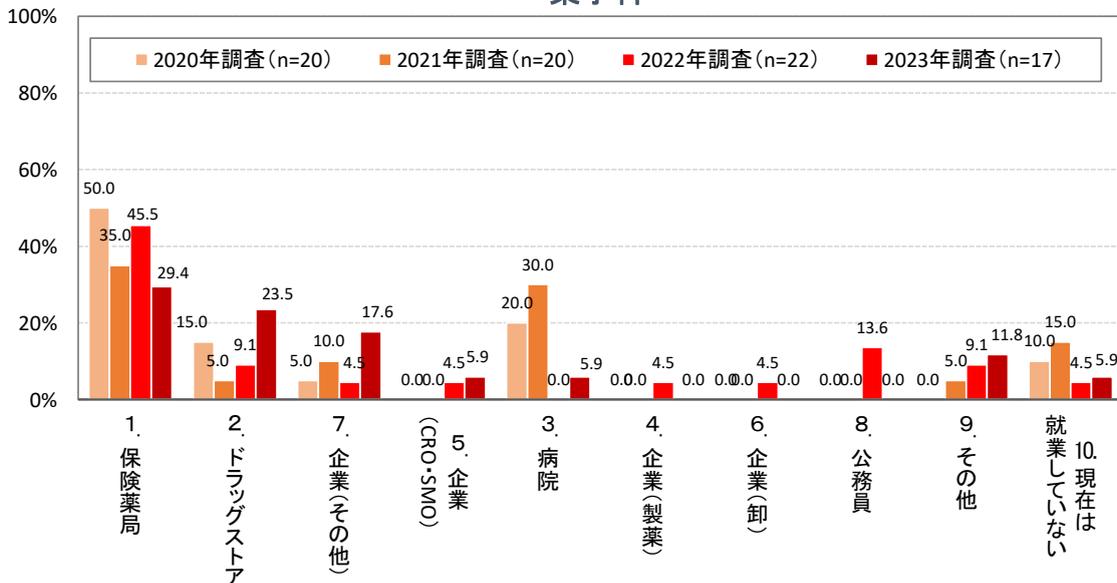
その他内訳

- 薬学科
- IT企業：1名
- 会計年度任用職員：1名

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

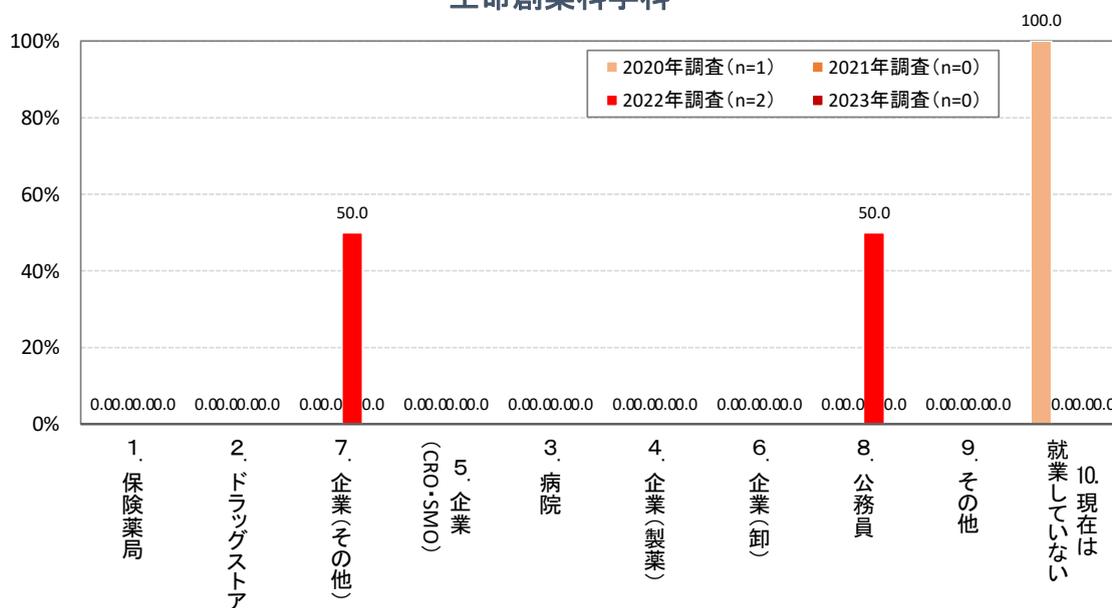
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

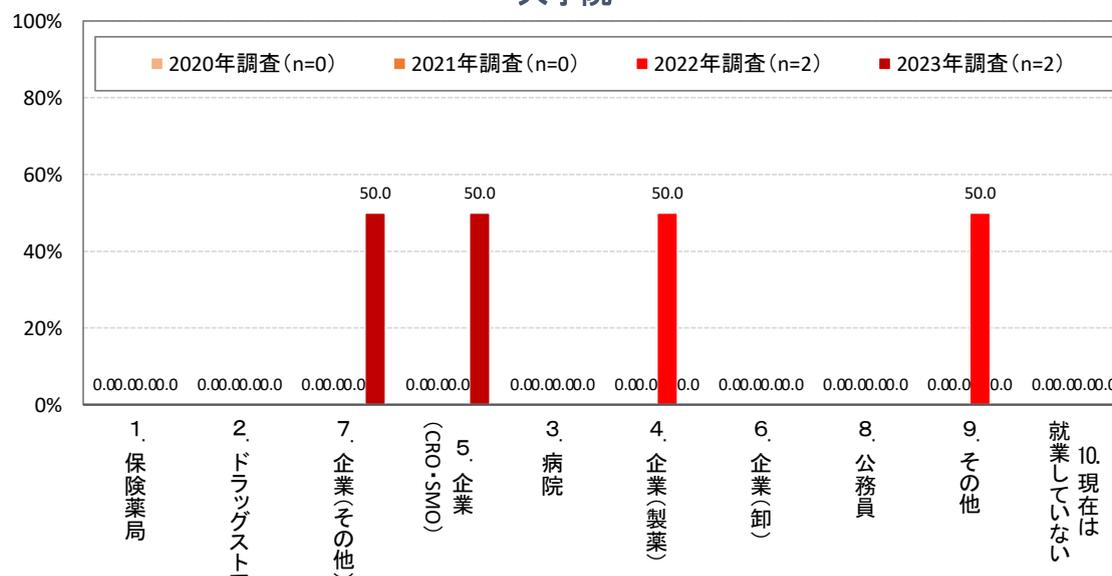
■Q4-1. あなたの現在勤めている業種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート

生命創薬科学科



大学院



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

薬学科の転職・離職後の職種は「薬剤師」が58.8%で最多。
2020年調査からやや減少

転職・離職後の現在の職種について、回答者全体のうち52.6%が「薬剤師」と回答。
「薬剤師」のスコアは2020年調査から減少傾向にある。

薬学科では、「薬剤師」が58.8%で最多だが、2022年調査より「臨床開発職」が7.2pt増加。

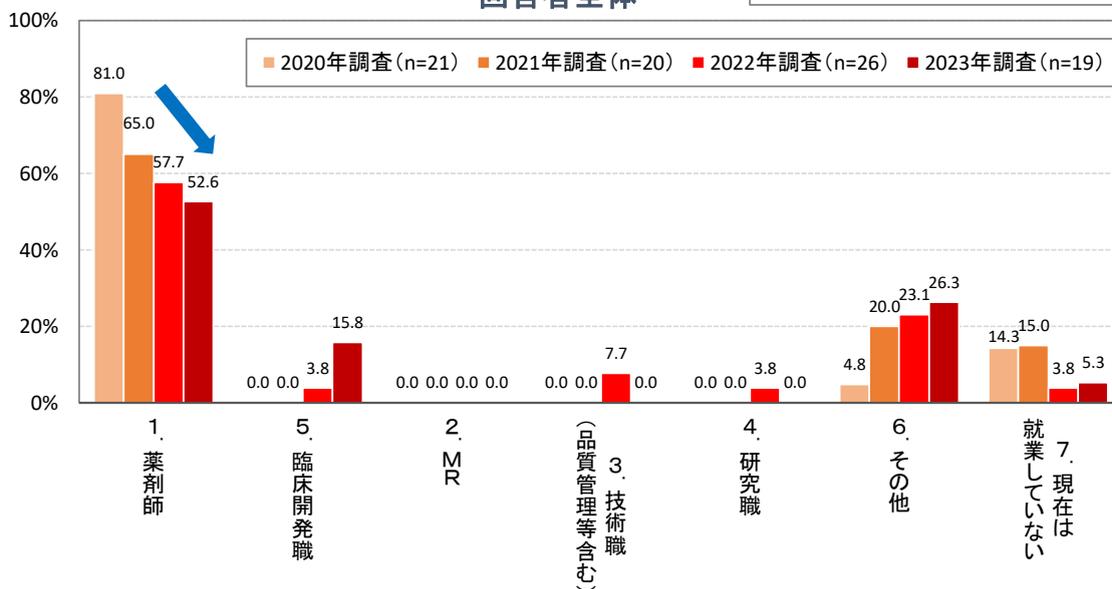
設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-2. あなたの現在の職種について あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

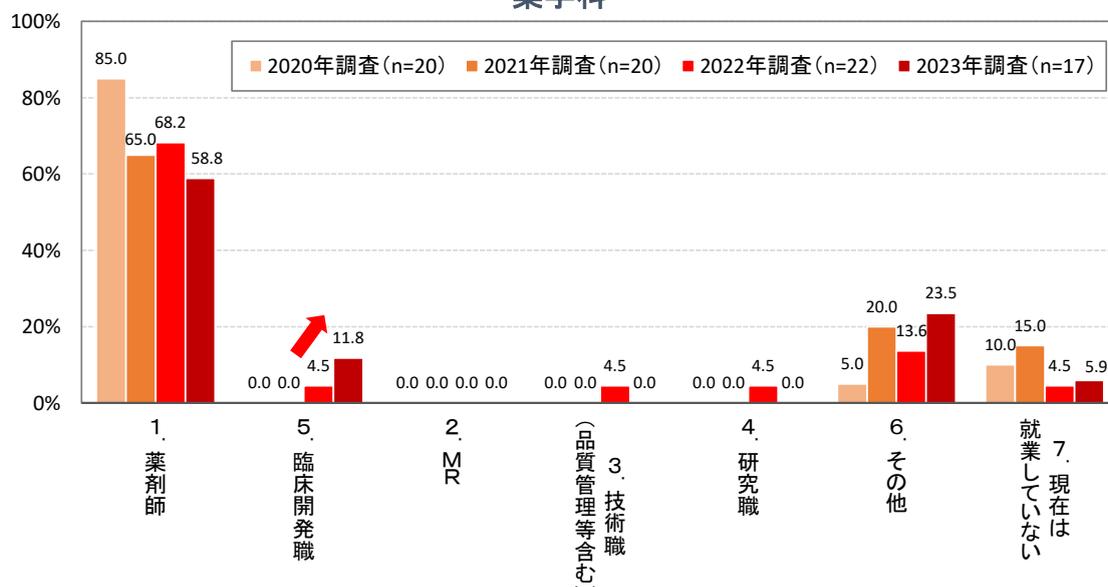
※2023年調査全体スコア以降降順ソート

その他内訳
●薬学科
●大学院
技術職：1名 エンジニア：1名
プログラマー：1名
事務員：1名

回答者全体



薬学科



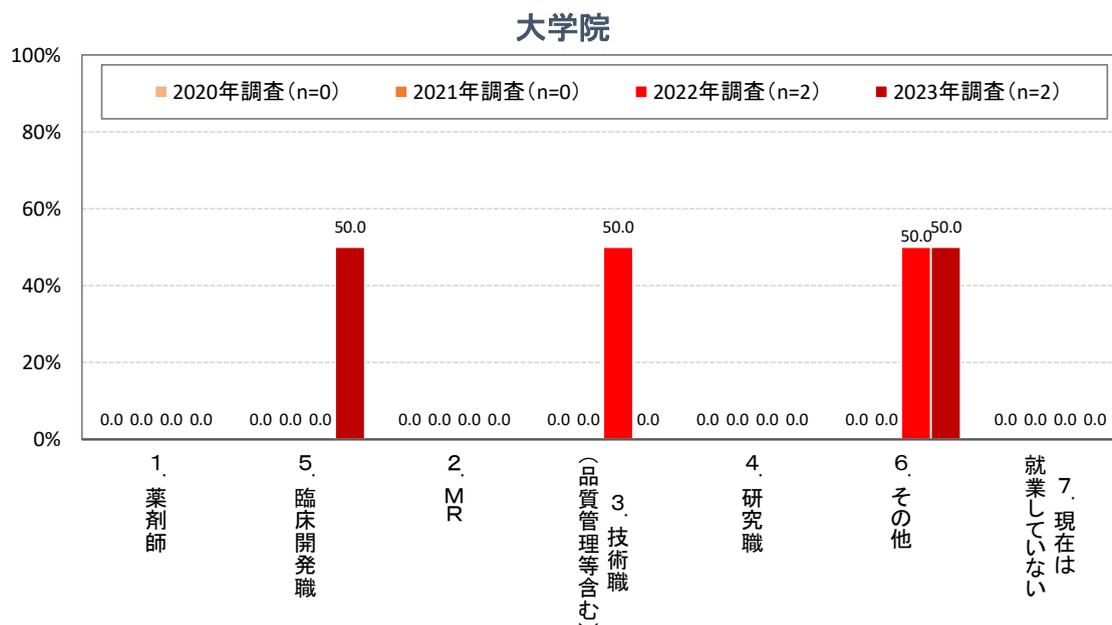
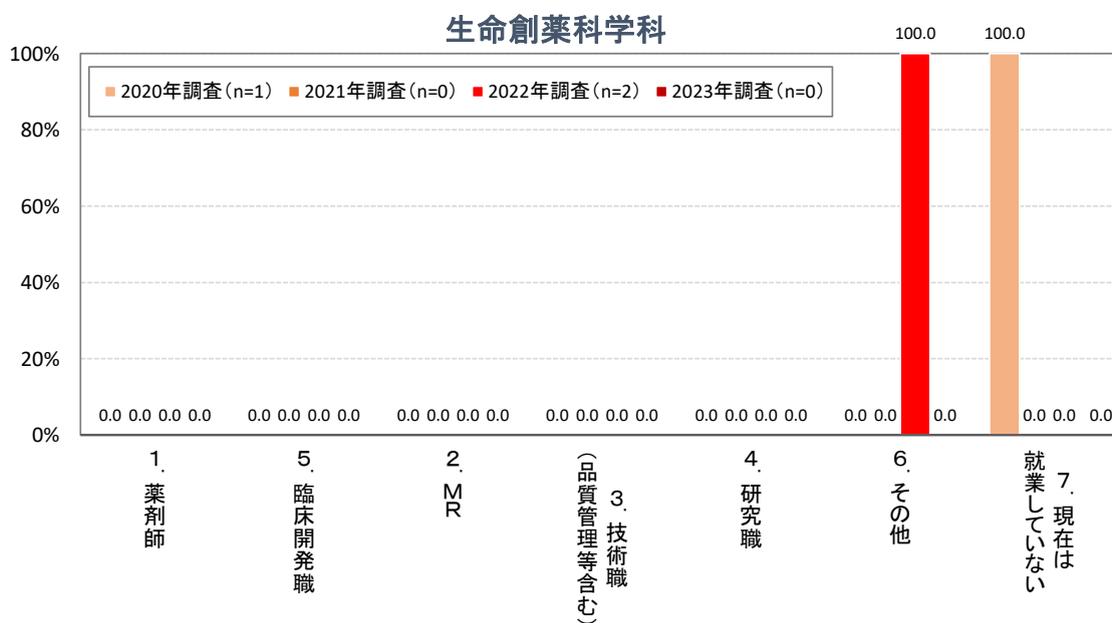
※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-2. あなたの現在の職種について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

過去調査以来、転職・離職経験者の約7割が
在職2年未満で前職を離れている

転職・離職経験者について、回答者全体のうち在職期間が「～2年未満」の人は72.2%にのぼり、過去調査以来、初めて7割を超えた。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-3. 前職の在職期間について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(複数の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

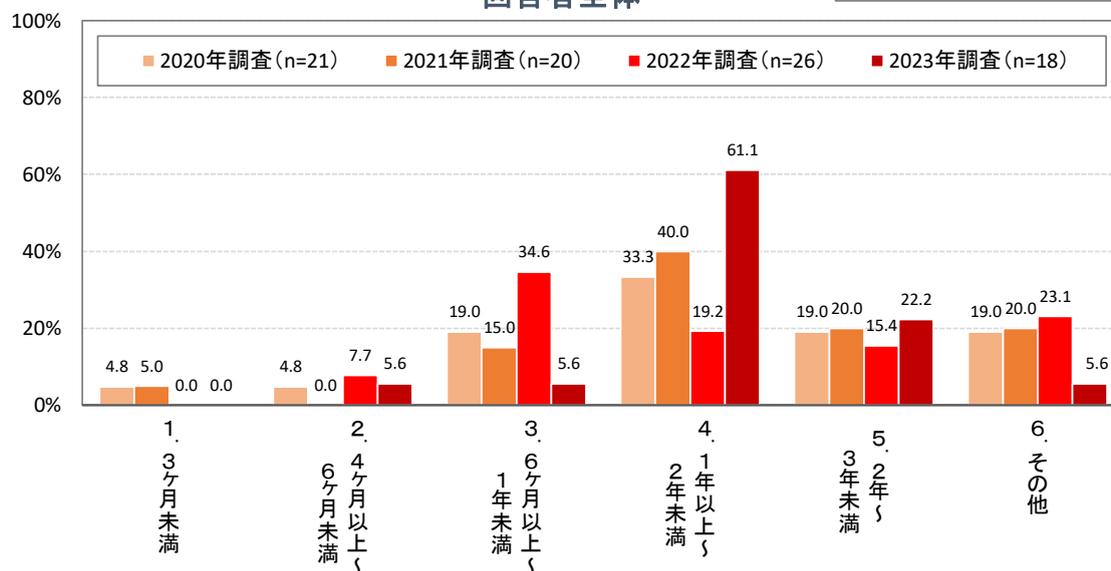
その他内訳

●薬学科

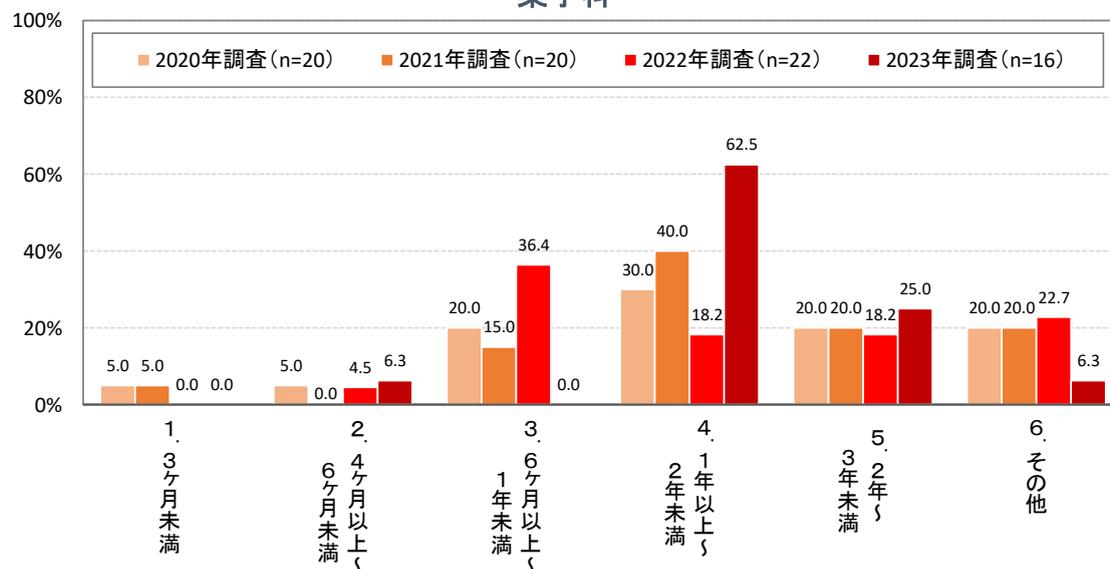
3年3カ月：1名

3年：1名

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

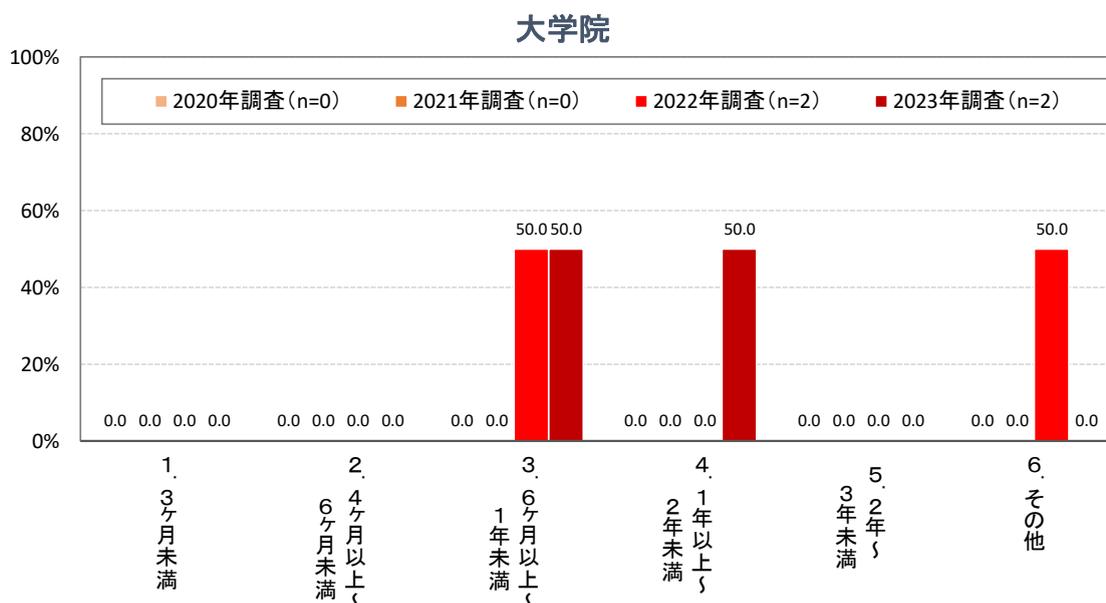
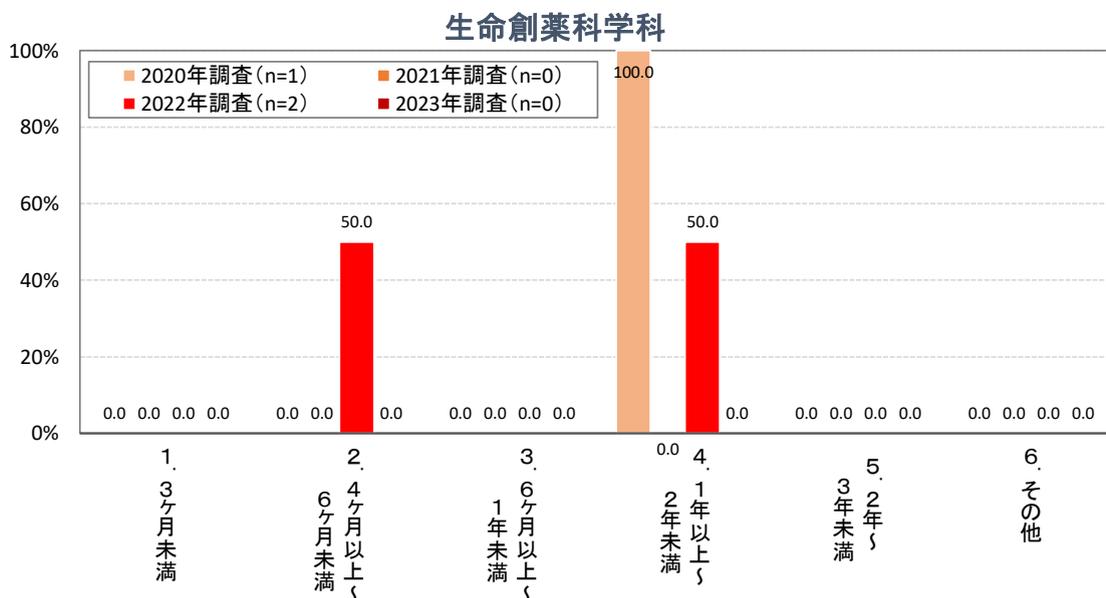
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■Q4-3. 前職の在職期間について

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

転職・離職の最も強い理由は
「労働環境の改善」の63.2%

転職・離職理由について、回答者全体のうち63.2%が「労働環境の改善」と回答し2022年調査より大幅増。そのほか2023年調査では、「健康上の理由」「給与面の待遇」「職場の人間関係の問題」「結婚」などの数値が高い。

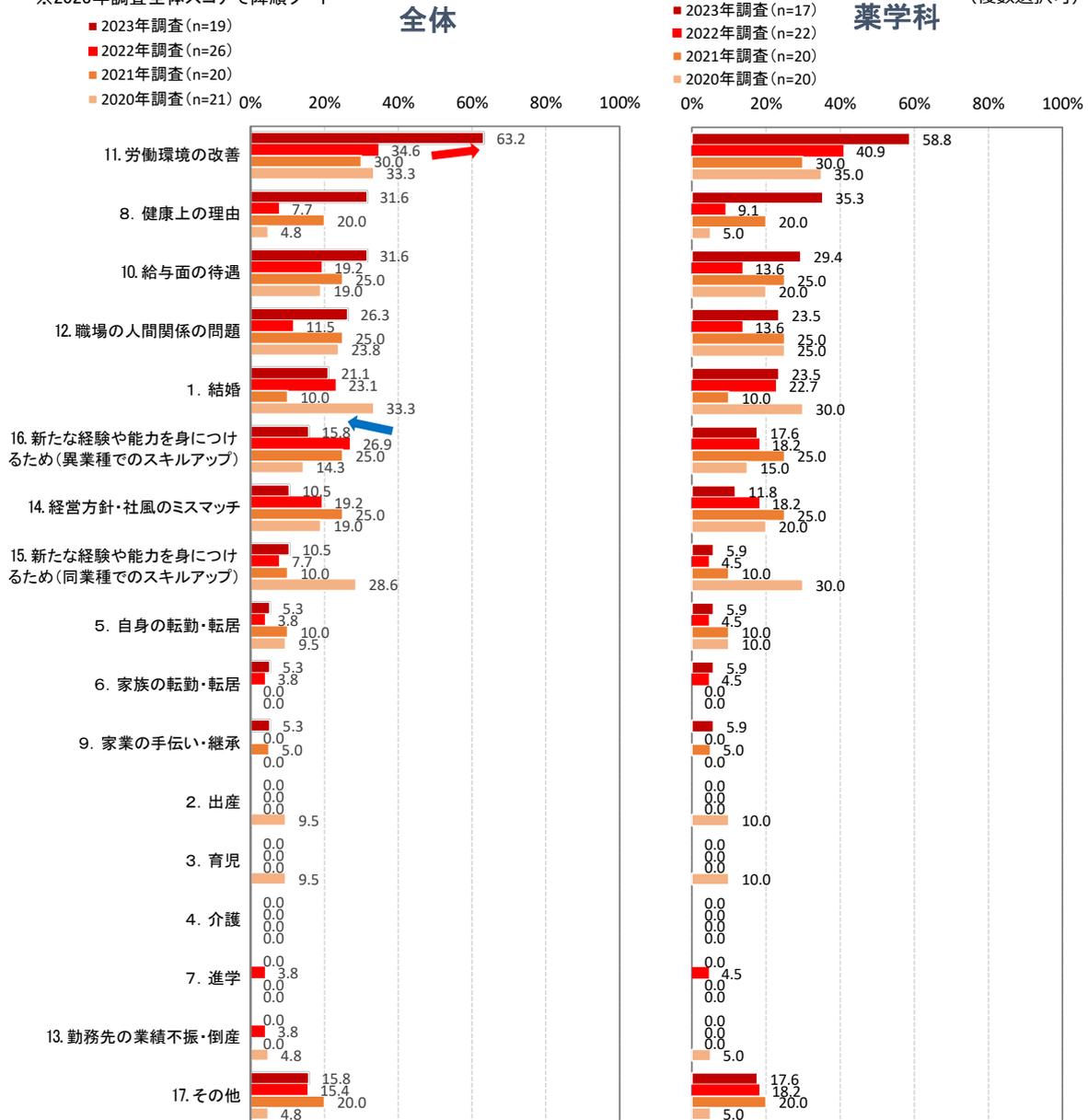
増加傾向にあった「異業種でのスキルアップ」は大幅に減少。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

- Q4-4. 転職・離職の理由について
 あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。
 (複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

その他内訳
 ●薬学科
 通勤時間：1名
 上司及び先輩薬剤師によるパワハラ：1名

※2023年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

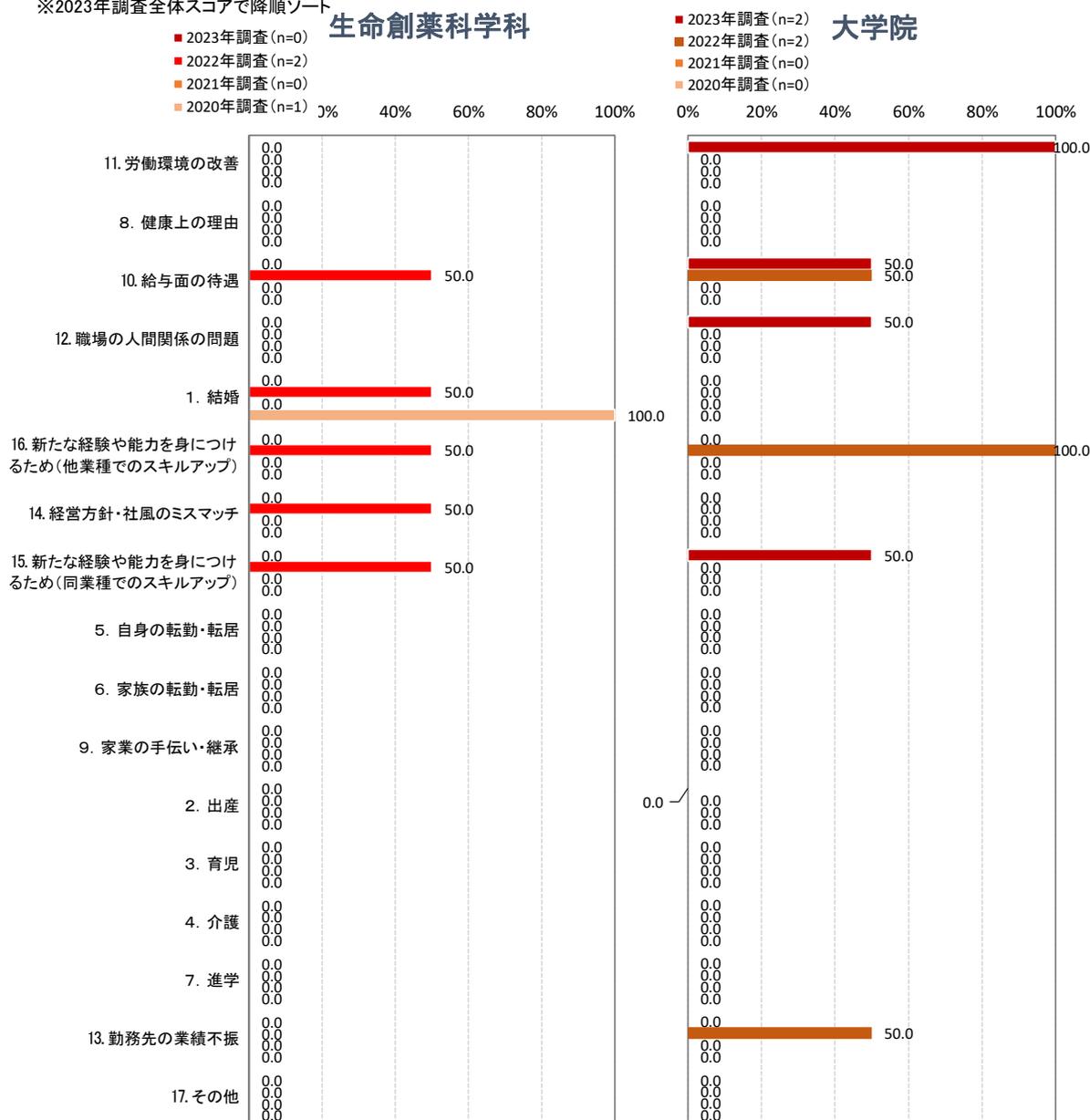
■Q4-4. 転職・離職の理由について

あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数選択可)

(複数回の転職・離職をされている場合、直近の前職についてお答えください)

※2023年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

**薬学科の具体的な転職・離職理由は、
「待遇に関する不満」が多い**

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きます。

- Q4-5. Q4-4で回答した 転職・離職の理由について
特に決め手となった理由、その具体的な内容をよろしければ教えてください。

(自由記述形式)

●薬学科

労働環境に不満
地方の病院であったため、薬剤師数が少なく、当直回数が多く大変だったため。また、職場の薬剤師のモチベーションにかなり差があり成長を見込めなかったため
勤務体制が不規則で深夜早朝までなど勤務であった
残業が100時間を超えたから
配属部署の過度な業務負担、上長からの理不尽な叱責、夜勤による不規則な生活、給与待遇などを総合して
給与面に不満
ボーナスが低く、年収が少なかったため
給与が思ったよりあがらないため
給与 頑張りや加算算定等数値として結果をのこしてもなかなか給与に反映されない そもそも給与が安すぎた為
自身の都合
結婚したので勤務時間が短く、家庭の時間を多く取れるから
夫が九州に転勤になったため
通勤時間が長く、体力的に辛くなったため自宅の近くの職場に転職（元職場は通勤時間以外に不満はなかった）
体力の限界
契約期間が終了したため。本当はそのまま継続で勤めたかった
人間関係
上司及び先輩薬剤師によるパワハラ（マイクロマネジメント等）により適応障害の発症、及び現疾患（高血圧、喘息、脅迫性障害）が悪化したため。ドクターストップもかかった。職場：個人の調剤薬局
人間関係によるトラブルです

●生命創薬科学科

回答なし

●大学院

業務内容に不満
研修が知識をつめるタイプで、実際に体験するわけではなく、身に付かなかった。加えて意味の無いと感じる物が大半であった
何年も在職しても、身につくスキルが少ないと感じたため

設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

転職・離職をする際に6割強が「父親・母親」に相談
「転職エージェント」に相談する人は6割弱

全体のスコアでは、転職・離職をする際の相談相手について、「父親・母親」が最多で63.2%を占め、2022年調査より大幅に増加。
「転職エージェント」は今回も4.0pt増で、「兄弟・姉妹」「大学時代の友人・先輩・後輩」ともに増加傾向にある。

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

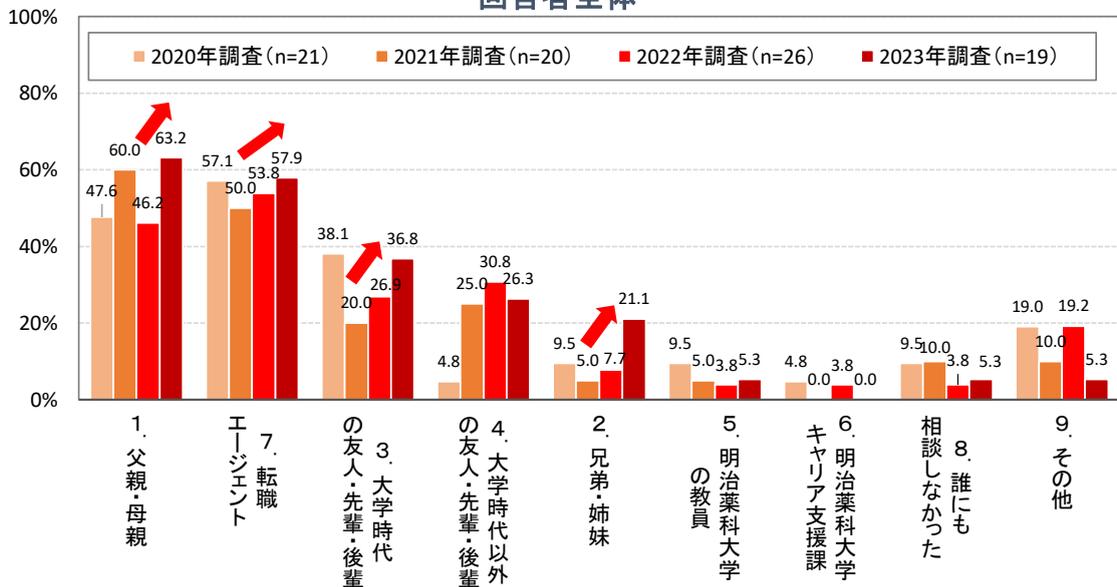
■Q4-6. 転職・離職をする際、あなたが相談した相手について
あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

※2023年調査全体スコアで降順ソート

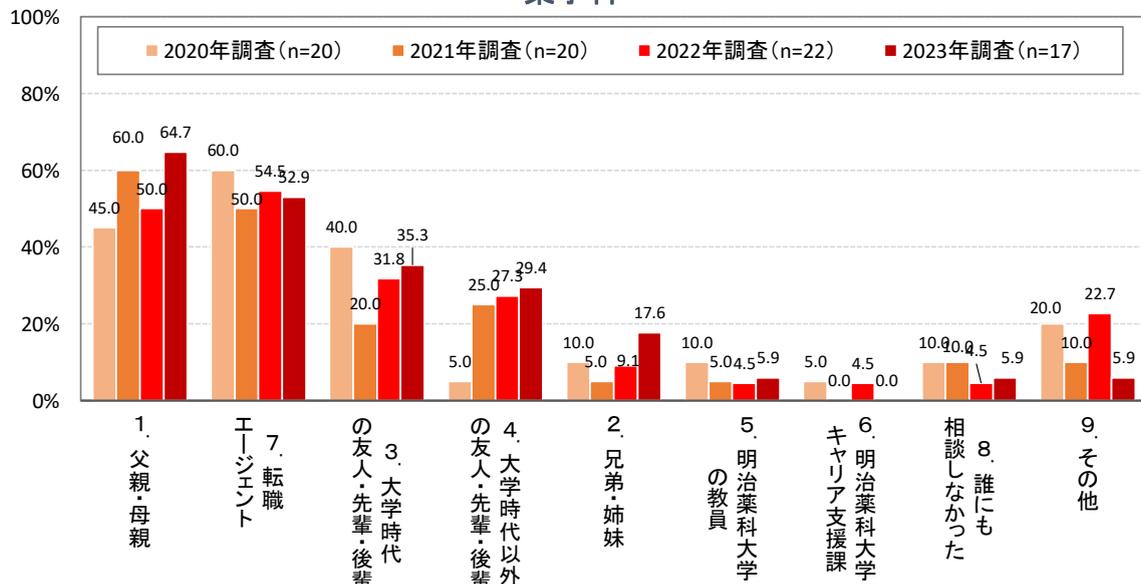
その他内訳
●薬学科
会社の上司：1名

(複数回答可)

回答者全体



薬学科



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

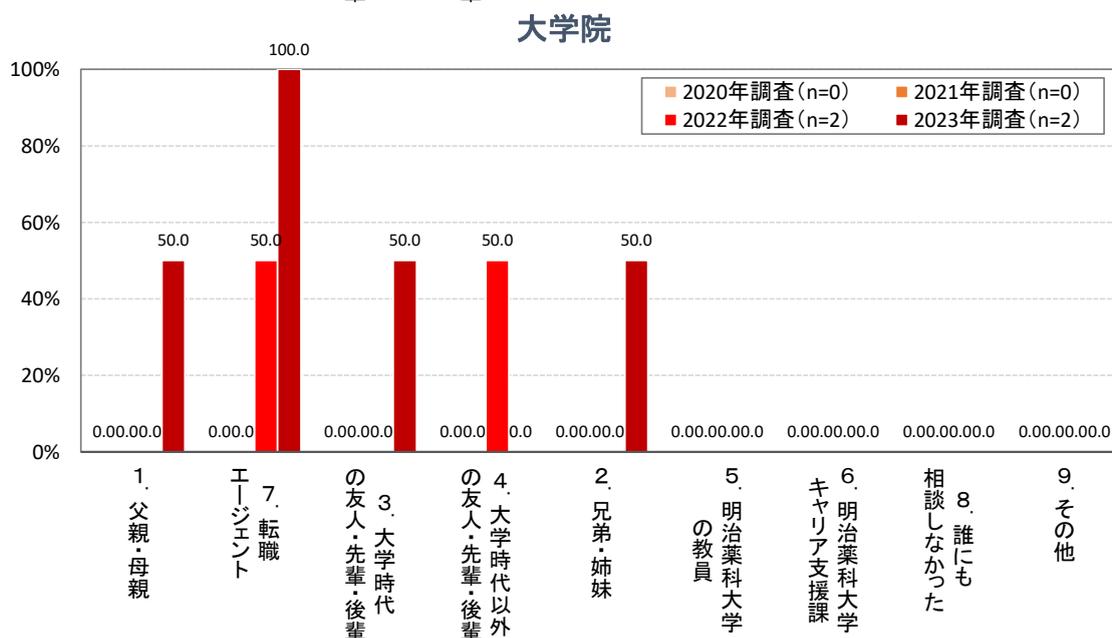
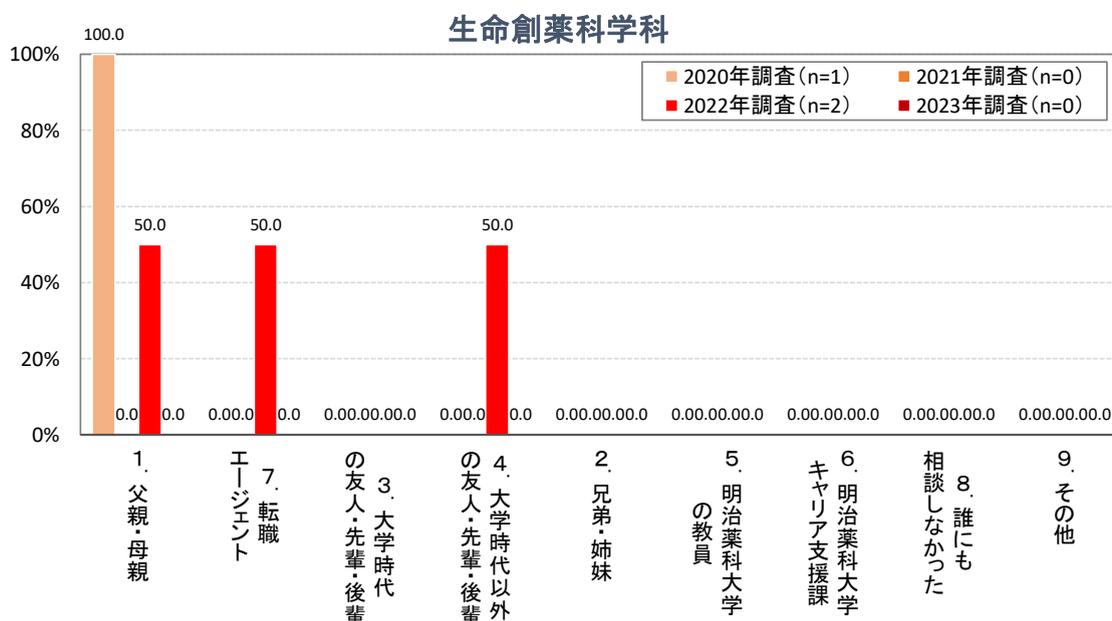
設問4. 転職・離職経験が「ある」場合について

設問4 転職・離職経験がある方にお聞きします。

■ Q4-6. 転職・離職をする際、あなたが相談した相手について
 あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

(複数回答可)

※2023年調査全体スコアで降順ソート



※全体・薬学科・生命創薬科学科・大学院ともに、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問5. 現在の就業先について

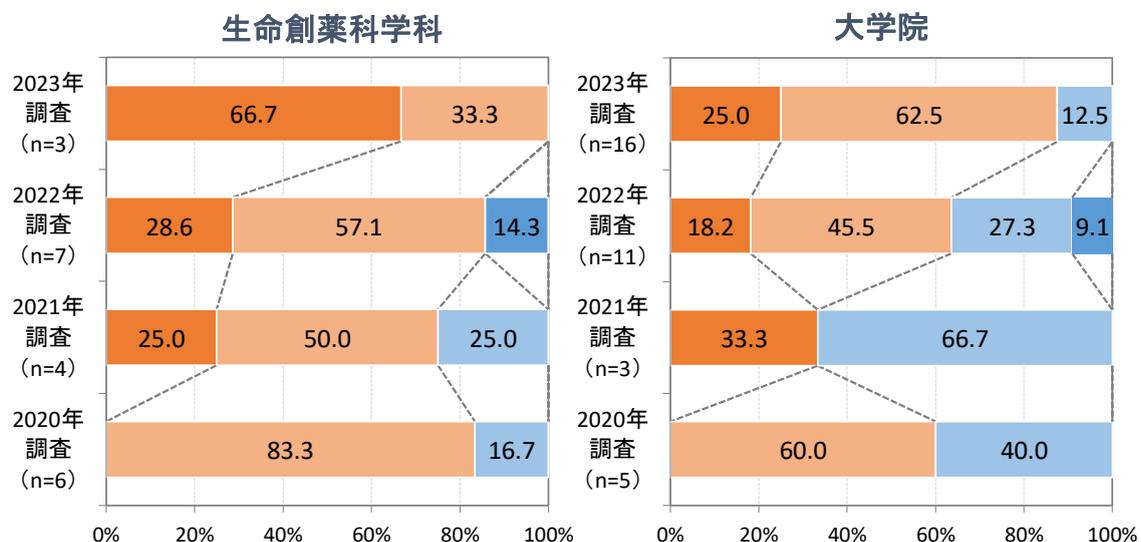
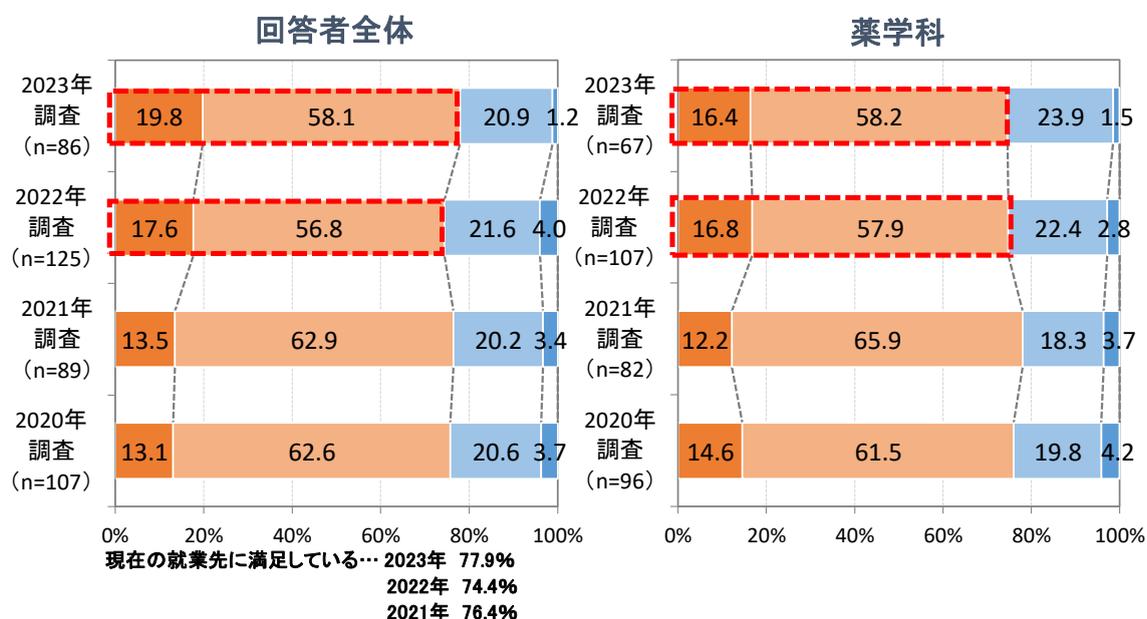
**現在の就業先の満足度は、回答者全体で77.9%。
2022年調査に比べやや増加。**

現在の就業先に対する満足度について、回答者全体のうち77.9%が満足していると回答。
2022年調査に比べ、3.5ptの増加。
薬学科の満足度は2022年調査と同程度。

設問5 現在の就業先についてお聞きします。

■Q5-1. 現在勤めている就業先に対する満足度について
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 非常に満足している ■ 2. やや満足している ■ 3. あまり満足していない ■ 4. 不満である



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 5. 現在の就業先について

設問5 現在の就業先についてお聞きします。

■ Q5-2. Q5-1で回答した現職満足度について

満足に思っている理由、不満に思っている理由をくわしくお聞かせください。

(自由記述形式)

● 薬学科：満足に思っている理由

業務内容・環境が良い/成長できる/やりがいを感じられる
中途採用でも新卒同様研修をしていただき、薬剤師としてのスタートを切ることができたから
在学時より働きたかった職種に就くことができ、学生時代から認識していた自身の強みが今の仕事で活かすことができていると感じるため
学校で教わった薬理学をはじめ、医療コミュニケーションなどの知識をフルに活かし、患者や他職種から信頼感を得られていると日々感じているから
しっかりと評価してくれるため
(満足) 教育制度がしっかりしている 人間関係 (不満) 給料面
人間関係良好、資格、勉学のサポート、相談ができる ・人手不足で常に忙しい、給料が低い
望む業務に関われている。残業も納得してできている。同業、同規模の他社と比較し、給与と福利厚生がわずかに悪い
人員が不足しているため多忙 やりがいは感じる
やりたいことができている (がん領域)
保険調剤業務とOTC接客業務どちらもできる。4年目という早い段階で管理薬剤師が経験できる。人が少ないため、急な休みに対応してもらいにくい(事前に申請した分の休みは希望通り)
たくさんの処方せんにふれることができる。患者数が多い分、薬学的に関われる可能性も高くなる
業務内容には不満はないが、店舗によって人間関係や残業、営業時間が異なるなどの店舗配属かでとても左右される
仕事にやりがいを感じており、人間関係等も良好であるため
薬剤師数に対して処方せん枚数は多く多忙ではあるが、上司、同僚、門前医院を含めた人間関係は良好で、給与面も満足している為
労働環境が良い
・規模が大き過ぎず、大きな転勤がないこと ・育休を半年間取得できた
①家からの距離が近い ②転勤がない ③診療科が多いため色々な病気の患者が来る (満足点) ④病院のため、D.S. 薬局に比べ給与が安い (拘束時間は短い) ⑤慌たたい (不満点)
休暇の希望が出しやすい。残業が少ない
現在の給与や勤務時間、通勤にかかる時間などに不満がない
福利厚生がしっかりしている。残業が少ない。平均と比べて給料が低い
全業務ワンオペの日もあり、会社に辞めたいと相談した。(精神的にも肉体的にもつらかったため) その後1カ月休職し、復帰した時には環境を変えてもらったので、今は大きな不満はなく働けている
職場環境は良いが、勤続1年目のため夏季ボーナスが支給されなかった
有給がとれる 時間外手当がでる
人間関係が良好
人間関係がとても良く、毎日楽しく働けているからです。また、自分が日々成長できていると感じることができています
人間関係が良く、広域処方箋も応需しているため、勉強になる
入職して1カ月未満で研修中のため、プロジェクトにアサイン後は分からないが、上司や同僚は面倒見が良い。外資のため自己管理の部分が多いので、その点は大変かもしれない。
職場の人間関係に不満はない。働きやすい。しかし人手が足りない状態が続いており、1人あたりの仕事量が多く感じる。ムダな仕事も多い。
給与が良い
収入は多い方であり、就業時間内で終われる、あるいは、残業手当も1分単位で支給される。-満足な点 薬剤師数が足りず、業務は多忙-不満な点
より稼げるポテンシャルがある。事業自体が楽しい
前職と比べ、給与がはるかに高い 前職より特にスキルを活かしながら働けている

次ページへ→

設問5. 現在の就業先について

設問5 現在の就業先についてお聞きます。

■ Q5-2. Q5-1で回答した現職満足度について

満足に思っている理由、不満に思っている理由をくわしくお聞かせください。

(自由記述形式)

● 薬学科：不満に思っている理由

業務内容に不満がある
仕事内容が物足りない。給料が低い
転職（ウエルシアの調剤併設の調剤）してまだ1ヶ月未満で研修や薬局独自ルールが多いこと。研修のため忙しい店舗への配属で、雰囲気ガシガシしてそう。慣れていないのも一因。1ヶ月後には今より忙しくない本店舗へ配属されるのでそこで合う合わないかの判断があります
労働環境・体制が良くない
合併に伴う福利厚生の変更が多かったため
異動によりあまり環境が良くない店舗に配属された
常に人員不足のため残業が多い 店舗数が多く、エリア内での応援勤務のため自宅から遠い店舗での勤務が多い
・給料が安い ・配属先が遠い ・残業時間が長い ・有給があまり取れない
薬剤師の人数が足りず仕事量が多い
人手不足のため
就業時間、通勤時間
・給与がいい ・調剤薬もO T Lも学べる ・休みづらい ・残業が多い ・1人の負担が大きい
給与面に不満がある
給料が大き上がらないため
給料が上がらない ルーティン化してしまい、新しいものがない
給与面が下がった。人間関係が複雑
将来性に期待はできない
先輩方も新人で入社数年で（3～4年）転職していきます。（半数以上）学習面では良いのですが、会社体制、勤務体制、上司の風土が悪いです。年功序列制でDX化等の変化、その意識が低く、考えも様々な所（勉強会、勤務体制等々）で古く、今後数十年勤務を続けていく事に不安を感じる。社長と薬局長の方々（50代後半）が独特の考えで話が通じず、ストレスを感じる。実習生への扱いもここ数年で悪化しており、充実した実習を受ける事は困難に思います
元々就職したかった職種ではなかったため、業務にやりがいを感じないため
薬局長になったけどそれ以上の役職に興味なく、モチベーションがなくなった。あきた

設問5. 現在の就業先について

設問5 現在の就業先についてお聞きます。

■ Q5-2. Q5-1で回答した現職満足度について

満足に思っている理由、不満に思っている理由をくわしくお聞かせください。

(自由記述形式)

● 生命創薬科学科：満足に思っている理由

業務内容・環境が良い/成長できる/やりがいを感じられる
希望通りの就職先 業務内容、福利厚生等も満足している
仕事がおもしろい(講演会の企画、講演依頼、資料作成) など多岐にわたる仕事をまかせてもらえる。3年目で、医大、県立病院など結果を出せば、任せてもらえる会社ですとおもしろい
労働環境が良い
福利厚生が充実している。男女比も半々くらいで偏っている感じはせず、子育てしながら働いている人もいる。残業を強いられることはなく、周囲の人と話しやすい

● 生命創薬科学科：不満に思っている理由

回答なし

● 大学院：満足に思っている理由

業務内容・環境が良い/成長できる/やりがいを感じられる
自身の考え方と経営理念がほぼ一致している。自分(社員)の成長にも力を入れてくれている
臨床開発業務以外の業務ができる(システム開発とか、採用)
仕事内容に不満はない たまに人間関係で悩んでいる社員をみかけるのでその部分だけ不安がある
自分のやりたかった業務内容ができている
多くの仕事を任せられ、自分のスキルアップができそうのため
研修が充実しているし、福利厚生なども良いため
業務内容に不満はないが、お給料が安い
概ね思い描いていた働き方ができているから。また大学院の経験が活かしているから
就職前のイメージとのギャップが少なく、特に不満に感じていることはない
労働環境が良い
満足→ライフワークバランスの良さ(長期間休暇が取りやすい) 様々な疾患の治療に関わることができる(入社2年目で3試験) 不満→お金…。住宅手当が1円も出ない
やりがいは多くないが、働いていて辛いことはあまりない 薬剤師が向いていた

● 大学院：不満に思っている理由

業務内容
満足：自分の業務習熟度に応じた仕事内容をアサインされていた点 不満：社会人経験が少ない中で管理職にアサインされ、自分の身の丈に合っていない仕事内容や量を割り振られている点/給与が業界内で比べてときに低い点
考えていたよりも、コミュニケーションを取る機会が少なく、メールチャットでのやり取りがほとんどで、やりがいあまり感じられないため

設問6. 明治薬科大学における学修経験について

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度について、
薬学科では「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」が最多

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度について、
「薬物治療の実践における薬剤師としての責任感」が64.7%で最多。
「医療人としてのコミュニケーション能力」「社会的視点で思考する能力」は2022年調査に比べ5pt以上増加。

設問6 あなたの 明治薬科大学における学修経験 についてお聞きます。

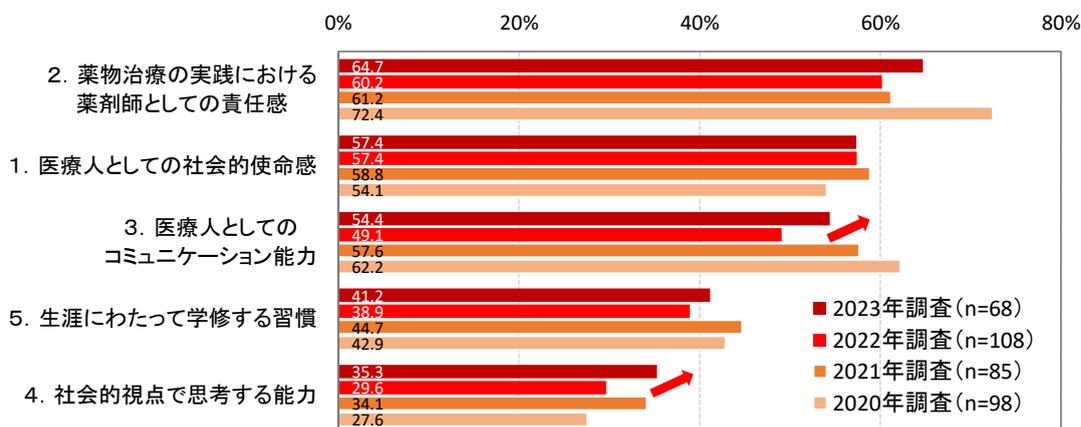
■ Q6-1. 薬学科ご卒業の方にお聞きます。

大学において修得した基本的な知識・技能・態度から、卒業後の現時点で
自身が修得していると思われる事項 を次の中からすべて選び、○をつけてください。

※2023年調査スコアで降順ソート

薬学科

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度 (複数回答)



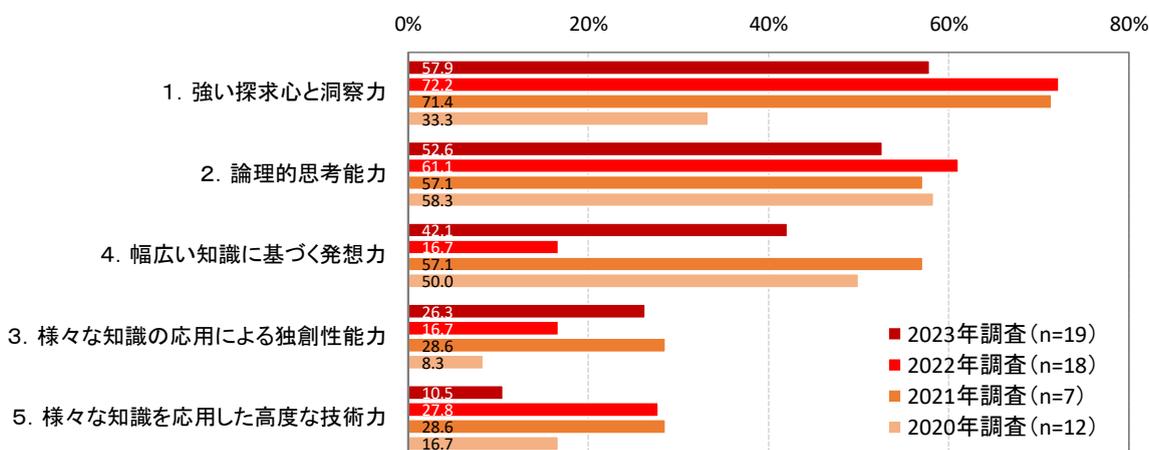
■ Q6-2. 生命創薬科学科 および 大学院博士課程 (前期) ご卒業の方にお聞きます。

大学において修得した基本的な知識・技能・態度から、卒業後の現時点で
自身が修得していると思われる事項 を次の中からすべて選び、○をつけてください。

※2023年調査スコアで降順ソート

生命創薬科学科・大学院

大学において修得し、現在も維持している基本的な知識・技能・態度 (複数回答)



※生命創薬科学科・大学院については、n数が少ないため参考値とさせていただきます。

設問 7. 明治薬科大学の就職支援について

設問7 明治薬科大学の就職支援についてお聞きます。

■ Q7. 明治薬科大学の就職支援について

ご意見・ご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。

(自由記述形式)

● 薬学科

就職支援に関する意見
今となっては「もう少し相談してもよかったのかな?」とも思いますが、現状もそこまで悪くはないので私にとっては正直そこまで大きく関与してないと思います 卒業生の資料は参考にした記憶があります
歴史のある大学のため、多くの先輩方の就活に関するデータや実績が豊富にあり就活中困ることはほとんどなかったです
就活時に、「就職先が決まった(内定先も含め)先輩の感想などのアンケート」を沢山参考にさせて頂きました。ありがとうございました
優しく対応していただけたので、面接練習でたくさんお世話になりました。ありがとうございました
もう少し学生が気軽に質問できる雰囲気になれば、学生時の理想と就職時のギャップを減らせるのではないかなと感じた。あと就職後、メアドが変わった場合どうしたらいいでしょうか・・・
あまり利用した記憶がないが、卒業生の面接で聞かれたことは参考になった
学生の頃は、先輩から話を聴ける機会がありとても役立った
学生時代、就活前からキャリア支援課の皆様にお世話になっていたからこそ、今の自分があると考えております 現在社会人4年目ですが、学生さんたちのお役に立てることがございましたら微力ではございますが、学生時代お世話になった恩返しができればと考えております
就活準備開始した5年次終わりから、キャリア支援課に積極的・献身的にサポートいただけて、本当に心強かった。低学年時から就職を意識させるようなコンテンツがあってもよいと思った
情報提供に関する意見
自分が目標としている就職先の先輩などに話を聞ける機会がもっとあると、具体的にイメージがしやすいのかなと思いました 例えば当院を就職先として考えてくれている後輩がいたらメール等で連絡ができるようにする等、他大学では行っているようです 必要であればご連絡下さい
ふと、卒後の転職支援などあれば新卒でどんな会社かわからず、不安に思っている就活生の安心につながるのではないかと思います。私自身も助かります。もし、実現したらいいなと思いました
各企業等、大学に招いて講演会を実施していただきたい
病院や薬局と比較し、企業就活へのサポート、ノウハウが少ないように感じていた。どのような進路を希望する学生さんにも有用なサポートができる組織であってほしいと思います
コロナの影響もあると思うが、もう少しOB OGと現役生が気軽に関わる機会があると良いと思う。(学内バーベキュー場など)
神奈川の病院や薬局の情報をもっと欲しかった 履歴書や小論文の書き方、面接のコツなどは非常に役立ったので、これからも続けてほしい
その他
卒業後も相談しに行ってもいいですか? ・進路や就職のこと、働き方のこと ・大学で習ったこと(厚労省の考え方)と現場でのギャップ→処方提案しようとしたら先輩薬剤師に、Drへの付度で止められる。対人に時間を使うと怒られるなど
卒業後も相談できるのであれば嬉しい。遠方に住んでいるので、ZOOMやTEL、LINEなどで気軽に出来たらいいと思う

設問7. 明治薬科大学の就職支援について

設問7 明治薬科大学の就職支援についてお聞きます。

■ Q7. 明治薬科大学の就職支援について

ご意見・ご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。

(自由記述形式)

● 生命創薬科学科

就職支援に関する意見

面接練習、志望動機の添削など自分の考えをしっかり聞いてくれて、深掘りしてくれたので、非常に感謝している。

● 大学院

就職支援に関する意見

生命4年の時に、就職すればよかったと感じる。本当に院に行くことで生徒のためになるのか、1人1人ヒアリングしてほしい

幅広い知識、豊かな経験、親身な態度でいつも相談に乗って下さり、ありがとうございました。学生に対して、オープンな雰囲気、利用しやすかったです

当時いらっしゃった垣尾さんの自己分析方法が就活に活かした気がします

情報提供に関する意見

学生時代、OBOGとの交流会の開催頻度がもう少し多ければ良かったなと思っていました

その他

たくさん話をきいてもらい、たくさんアドバイスをいただきました。多くの時間をいただいて、自分をよくよく見直したことで、人生をかけてつとめて、自分も高めていける会社に就職できました。卒業後にも話しに行く機会を設けてほしいです→悩みとかを相談できる時間をどう予約するかシステム作りをお願いします

私はコロナ中の就活だったため、キャリア支援課にふらっと立ち寄って相談することはありませんでしたが、内定を頂いた後キャリア支援課の方と話し、頼れば良かったなと思いました。学生に、1度は必ずキャリア支援課を訪ねるように制度を作れば学生も頼れるし、支援課の方も進捗把握できていいなと思いました